



JAPAN  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邊暁雄 —

**Tokyo**

東京定期演奏会  
780th

Franz  
Joseph  
HAYDN



MIYOSHI  
Akira



SATO  
Haruma



Alexander  
LIEBREICH



TAKEMITSU  
Toru



Richard  
STRAUSS



032009

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

**SUBSCRIPTION  
CONCERTS**

**2026.5**

Ludwig  
van  
BEETHOVEN



KOYAMA  
Michie



KOBAYASHI  
Ken-ichiro



032009

**Yokohama**

横浜定期演奏会  
417th

日本フィルハーモニー交響楽団



CONTENTS 目次

東京定期演奏会プログラム	4
次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー 広上 淳一編	10
横浜定期演奏会プログラム	12
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	17
次回横浜定期演奏会	18
写真プレイバック- 2026年2月〜3月 -	19
今後の日本フィル出演公演	20
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	22
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	23
夏休みコンサート2026	24
秋冬芸劇シリーズ2公演セット券	25
感動の共有 ～ご支援のお願い～	33
日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	34
日本フィルハーモニー交響楽団 パトロネージュご芳名	38
2026/2027シーズン東京・横浜秋冬定期演奏会一覧	40
インフォメーション	41
訃報 元理事長 田邊 稔氏	42
オーケストラ・プロフィール	43
楽団紹介	44

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF



演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。

音にご注意を



ビニール袋

靴にしまう、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご注意ください。



飴の袋

客席内の飲食はご遠慮いただいております。お咳の予防等ご利用の際は、演奏前にお口の中に入れるか、あらかじめ袋から出しておく等のご準備をお願いいたします。



マジックテープやファスナーの音

開け閉めの音は意外に響きます。演奏前にご確認ください。



鈴などアクセサリがついたストラップ

靴にしまうなど鳴らないようにご注意ください。



補聴器の音

ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。

声と拍手にご注意を



私語



せき

演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないよう配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから。最後の余韻までお楽しみください。

撮影禁止



録音禁止



録画禁止



写真撮影禁止

演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。  
※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。詳細は公演時にご案内いたします。

周囲にご配慮を



身を乗り出さない



つばの広い／高さのある帽子

席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。

撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、演奏会から5日以内にご回答をお願いします。



## 第780回東京定期演奏会

780th Tokyo Subscription Concerts

2026年 5月22日(金) 19:00開演

5月23日(土) 14:00開演

サントリーホール

7:00p.m., Friday, 22nd & 2:00p.m., Saturday,  
23rd May, 2026, at Suntory Hallプレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日/18:30~  
土曜日/13:20~東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや  
楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。

今月は音楽学者・白石美雪さんです。



## ハイドン 交響曲第44番《悲しみ》ホ短調 Hob.I:44(約25分)

Franz Joseph HAYDN Symphony No.44 "Trauersinfonie" in E-minor, Hob.I:44  
I. Allegro con brio  
II. Menuet  
III. Adagio  
IV. Presto

## 三善 晃 昀つり星《チェロ協奏曲第2番》(約13分)

MIYOSHI Akira ÉTOILE À ÉCHOS "Cello Concerto No.2"

休憩(15分) Intermission

## 武満徹 群島S. ー21人の奏者のための(約14分)

TAKEMITSU Toru Archipelago S. for 21 players

## R.シュトラウス 交響詩《死と変容》TrV158, op.24(約25分)

Richard STRAUSS Symphonic Poem "Tod und Verklärung" TrV158, op.24

指揮 アレクサンダー・リープライヒ

Conductor Alexander LIEBREICH

チェロ 佐藤 晴真

Violoncello SATO Haruma

コンサートマスター

扇谷 泰朋

Concertmaster

【日本フィル・ソロ・コンサートマスター】  
OGITANI Yasutomu, JPO Solo Concertmaster\*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。  
ご要望の方は主催者まで申し出ください。5月22日(金)公演は  
ライブ配信あり!Member's TVU CHANNELにて配信  
<https://members.tvu.com> 詳細はP23へ

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社

TANAKEN株式会社

ホッカンホールディングス株式会社

三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成 /

文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援 /

ドイツ連邦共和国大使館  
東京

Conductor

指揮

## アレクサンダー・リープライヒ

Alexander LIEBREICH



©堀田 力丸

ドイツのレーゲンスブルク生まれ。ミュンヘン音楽演劇大学とザルツブルク・モーツァルテウムにて学び、クラウディオ・アバドとミハエル・ギーレン両氏の薫陶を受けた。ロイヤル・コンセルトヘボウ管、BBC響、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、ドレスデン・フィル、チューリッヒ・トーンハレ管、ブルノ国立フィル、ワルシャワ国立フィル、マラー・チェンバー管、オレゴン響、シンガポール響等世界各国のオーケストラへ客演を重ね、リサ・パティアシヴィリ、クリスチャン・ツィメルマン、フランク・ペーター・ツィンマーマン、ゴータイエ・カブソン、アルバン・グアハルト、リーラ・ジョセフォヴィッツ、イザベル・ファウスト等、世界的なソリスト達と定期的に共演している。

加えて革新的なプロジェクトもプロデュース、2002年にはユング・ドイチェ・フィルと共に北朝鮮と韓国を訪問、2011年には韓国のトンヨン国際音楽祭の音楽監督にヨーロッパ人として初めて就任、異文化交流を目的とした「イースト・ウェスト・レジデンス・プログラム」を実現、韓国にハイナー・ゲッベルス、ウンスク・チン、マルティン・グルビンガー、細川俊夫、ベアート・フラー等の作曲家の招聘を実現。これまでミュンヘン室内管弦楽団芸術監督兼首席指揮者、トンヨン国際音楽祭音楽監督、ポーランド国立放送交響楽団首席指揮者兼芸術監督、プラハ放送交響楽団首席指揮者、リハルト・シュトラウス音楽祭芸術監督を歴任。シマノフスキとルトスワフスキの作品集をはじめ、ハイドン、モーツァルト、イサン・ユン、細川俊夫まで幅広いレパートリーのレコーディングをAccentus、ECM、ドイツ・グラモフォン、SONYへ残しており、いずれも国際的に高い評価を得ている。2016年にはバイエルン州政府から文化賞特別賞を受賞。現在、スペインのバレンシア管弦楽団の首席指揮者兼芸術監督。2026年から台北市立交響楽団の首席指揮者に就任。

◀指揮者インタビューは  
こちらから  
(4月東京定期プログラム掲載)



©Seichi Saito

Violoncello  
チェロ

佐藤 晴真

SATO Haruma

その世代で最も注目を集める気鋭のチェロ奏者。

2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。

18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を行う。以降、エッシェンバッハ指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ポペルカ指揮プラハ放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団をはじめ、国内外の主要オーケストラと共演を重ねており、リサイタルや室内楽にも積極的に取り組んでいる。

20年には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses～ブラームス作品集～』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。21年には、『SOUVENIR～ドビュッシー＆フランク作品集』、23年に『歌の翼に～メンデルスゾーン作品集』をドイツ・グラモフォンよりリリースした。

また、23年に NHK Eテレで放送されたアニメ『青のオーケストラ』に演奏キャストで参加するなど、多方面での活躍が期待されている。

これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイェンス＝ペーター・マインツ氏に師事している。

20年、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される若手チェリストに贈られる、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。

使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。現在、ベルリンと東京を拠点に活動している。

解説: 白石 美雪

どんな芸術においても、生と死は古来、重要なテーマである。日本フィルと1年ぶりの共演となるアレクサンダー・リープライヒは古典派、ロマン派、現代を結ぶ選曲を通して、「死」と向き合う。ハイドンの交響曲第44番は当時にはめずらしいホ短調の楽想で空気を哀感で染め、三善晃の《罅つり星》では死者の慟哭が聴こえる。武満徹が亡くなる3年前に書かれた《群島S.》では個としての生が死との境目で漂いながら呼応しあい、R.シュトラウスの《死と変容》は死との闘いを経て永遠にいたる。まさに、このプログラムは宇宙のメタファーと響き合う「死」を描いていくのである。

### ハイドン: 交響曲第44番《悲しみ》ホ短調Hob. I : 44

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン(1732-1809)の交響曲第44番は、短調の交響曲を多く書いた疾風怒濤期を代表する1曲で、ロマン主義風の感情表出が際立っている。ベルリンで行われたハイドンの追悼式典でアダージェヨ楽章が奏でられたことから、「悲しみ」あるいは「哀悼」の副題をもつ。作曲はエステルハージ家に仕え始めて数年の中期と考えられ、その頃のハイドンの交響曲に一般的なオーボエ2本、ファゴット1本、ホルン2本(EとG)に弦楽パートという編成である。

【第1楽章】 アレグロ・コン・プリオはソナタ形式。ユニゾンで始まる楽想に第1ヴァイオリンが応える第1主題に続いて、この時期、積極的に導入された対位法的な経過部、ト長調の第2主題が力強く呈示される。駆動的なリズムによる展開部、変形された再現部に劇的なコーダが続く。終わり近くに第1主題のモチーフによる短いカノンが耳をかすめるのは、まるで次の楽章を予告しているかのようである。

【第2楽章】 メヌエットは楽譜に「オクターブによるカノン」と記され、悲しみをたたえた主部は巧みに組み上げられたカノンとなっている。抒情的なトリオはホ長調で、安らぎをもたらす。

【第3楽章】 アダージェヨは典雅な雰囲気にも満たした緩徐楽章。二部分ソナタ形式で、弱音器付きのヴァイオリンが優美なホ長調の第1主題を奏でる。短調による展開を挟んで、再現部がオーボエとホルンが始まる場所は印象的だ。

【第4楽章】 プレストは二部分ソナタ形式によるエネルギーギッシュなフィナーレ。典型的な「疾風怒濤」スタイルである。第1主題と第2主題が動機で関連付けられ、第2主題群はこの交響曲で最も複雑な二重カノンとなっている。一気に駆け抜け、主要主題へ回帰する充実したコーダで閉じられる。

■ 楽器編成: オーボエ2、ファゴット1、ホルン2、弦楽5部。

## 三善晃：昴つり星—チェロ協奏曲第2番

《昴つり星—チェロ協奏曲第2番》は1996年、サントリーホール開館10周年を記念して委嘱され、10月28日、堤剛のチェロ、若杉弘指揮のNHK交響楽団の演奏で初演された。三善晃(1933-2013)は「反戦三部作」として、《レクイエム》(1972)、《詩篇》(1979)、《響紋》(1984)という合唱とオーケストラのための作品群を書き上げたのち、その続編としてオーケストラによる四部作を構想する。この四部作では第二次世界大戦の犠牲となった無名の死者たちと、この世から死者を想う人たちのまなざしが交差する。いわば生者と死者の対話であり、三善晃の原風景となっている戦争体験が色濃く刻まれている。

《夏の散乱》に続いて作曲された第2作《昴つり星》は淡水から汽水の湖沼に生育する星吊藻にちなんで、タイトルが付けられた。藻体の下に白く星形の球状体が吊り下がる形から、作曲家は天空に浮遊している死者の昴たちがどこかの星に吊るされて揺れていて、かすかな響きに共震しているにちがいないという連想を抱いた。

昴の幻想が託された独奏チェロが幅広い音域で跳躍する楽想をゆったりと奏で始めると、光彩のような打楽器、断片的な楽想を添える管楽器、上行音型が特徴的な弦楽器と、あたかもチェロと共振するかのようにオーケストラがモチーフを奏でる。やがて散発的だったオーケストラの楽想が波紋を作り出し、エネルギー的な音群となって翻弄するのだが、独奏チェロは衰えることなく、オーケストラの音響を縫うような音型で上行を繰り返す。さらに層状となった楽器群に支えられて勢いを増し、同音連打を伴う激しい楽想で疾走したのち、独奏チェロの静かな一節で終わる。

楽器編成：独奏チェロ、フルート2(ピッコロ持替2)、オーボエ2、クラリネット2(E♭管クラリネット持替1)、ファゴット2(コントラ・ファゴット持替1)、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ4、小太鼓、銅鑼、シンバル、サンダーボード、ヴィブラフォン、スレイベル、マラカス、チューブラーベル、トムトム3、マリンバ、アンティークシンバル、ピアノ(チェレスタ弾替1)、ハープ、弦楽5部。

## 武満徹：群島S. — 21人の奏者のための

武満徹(1930-96)の《群島S.》は1993年、イギリスのオールドバラ・フェスティバルで、オリヴァー・ナッセンの指揮、ロンドン・シンフォニエッタの演奏で世界初演となった21人の演奏者のための作品。タイトルのSは英語で複数を表すSだが、同時に、武満がその美しさに惹かれた3つの群島、ストックホルム、シアトル、そして瀬戸内海の島々の地名がいずれもSの頭文字だったことから、こうしたタイトルが付けられた。

特徴的なのは楽器群の配置で、こうした空間性への関心は中期から始まり、後期に書かれたこ

の曲でも続いていた。オーケストラは5つのグループに分割され、舞台上には3つのグループが置かれている。客席には左手と右手にそれぞれクラリネット奏者が一人ずつ、配置される。楽器群を島々のように点在させて、これまでとは全く異なる楽器どうしの関係を生み出そうとしたのである。武満自身の説明によると、「この作品では島々がそれぞれ互いに離れて個別でありながら全体を形作っているように、そしてここではさらに空間を遠く隔てた群島が互いを呼び合い、それが宇宙的なメタファーとして感じられるような場を作りたいと思った」とのこと。個々の奏者は独立して、疑似的な対話をする。自由な調性の響きで貫かれた音楽で、一つ一つの楽器が順番に、比較的長い独奏をつないでいくあたりに、島々の視覚的なイメージが投影されているのだろう。

楽器編成：フルート1(アルト・フルート持替1)、オーボエ1(オーボエ・ダモール持替1)、クラリネット2、ファゴット1、ホルン2、トランペット1、トロンボーン2、ヴィブラフォン、アンティークシンバル、シンバル、グロックンシユビール、チューブラーベル、ハープ、チェレスタ、ヴァイオリン2、ヴィオラ2、チェロ2、コントラバス1。

## R. シュトラウス：交響詩《死と変容》Trv158, op.24

交響詩《死と変容》はリハルト・シュトラウス(1864-1949)の3作目の交響詩である。1885年、マイニンゲン宮廷管弦楽団の指揮者に就任した彼は、そこで第1ヴァイオリン奏者で作曲家のアレクザンダー・リッターと知り合った。ペルリオーズヤリスト、ワーグナーの音楽に興味を抱くようになったのは彼の影響によるところが大きい。R.シュトラウスから完成したばかりの《死と変容》の構想を聞いたリッターは、おそらく作曲家本人の依頼でその内容を一篇の詩にしたためた。シュトラウスはそれを楽譜の冒頭に掲げ、標題としたのである。

内容は次のようなものだ。まず、生と死の闘いのさなかにある病人の様子が描かれる。彼は無邪気な少年時代から絶頂に上り詰めた成熟期まで、人生の出来事を回想する。死に瀕している今も、生涯、追い求めてきた目標に手をのばそうとするが、つかめそうできて、決して届くことはない。再び死との闘争がやってきて、ついに最後の一撃が響き、身体は二つに分けられ、世界は闇となる。「しかし天界から彼に力強く響く。彼が憧れてここで求めたもの、世界救済と世界変容が響く」のである。

曲全体は標題に対応する4つの部分からなり、序と結尾をもったソナタ形式と考えられる。冒頭で支配的な4度から6度の和音は苦しみの象徴で、ティンパニの刻みはベッドの病人の脈拍にもきこえる。強烈な打楽器の爆発とトランペットの轟音と響き渡るトロンボーンの音が死の恐怖を呼び起こし、壮麗なドラマを繰り出す。第1主題部の終わりあたりに金管楽器が奏でるモチーフが「変容の主題」で、同じ楽想が《4つの最後の歌曲》でも引用されている。「少年時代の回想」「青年時代の回想」など、詩に表現されている要素の一つ一つをライト・モティーフで表現し、生から死への変容の瞬間をクライマックスとして、終わりの時を描くのである。

楽器編成：フルート3、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ、銅鑼、ハープ2、弦楽5部。

## NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

# 第781回東京定期演奏会

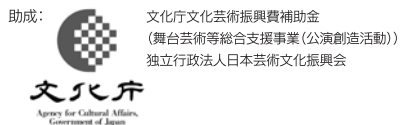
2026年 6月6日(土) 14:00開演  
6月7日(日) 14:00開演  
サントリーホール

プレトーク 広上 淳-マエストロ 土曜日/13:20~  
山野 雄大氏 日曜日/13:20~

### ■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C 完売 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。



## アラビアンナイト 広上淳一が描き上げる千一夜とモダン・アメリカンサウンド

ガーシュウィン:  
《パリのアメリカ人》

ファジル・サイ:  
ヴァイオリン協奏曲  
《ハーレムの千一夜》  
op.25

コーブランド:交響曲第3番



指揮:広上 淳一  
[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]



ヴァイオリン:服部 百音

## 次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

広上 淳一編

きき手 山野 雄大

——マエストロは今年1月の東京定期でも、トルコの現代作曲家で人気ピアニスト、ファジル・サイ(1970~)のチェロ協奏曲《Never Give Up》を取り上げられました。ひきつづき次回定期では、サイのヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》が演奏されます。有名な『アラビアン・ナイト(千一夜物語)』をイメージした作品です。

これもなかなかの大作で、心に残る音楽です。ソロを弾く服部百音さんが、レパートリーとしてあちこちで演奏している作品ですね。なにしろ彼女は凄い才能。とにかく休まず走り続けているヴァイオリニストで、心配になるくらい。

——服部百音さんは関西フィル定期や東京フィル定期でも演奏して大評判でしたから、再演も楽しみです。トルコの打楽器をあれこれ駆使しながら、魔法にかけられるようなリズムのなかで、ヴァイオリン独奏も多彩に大活躍……という音楽で、現代曲と思わずに愉しんでいただけないでしょうか。

ファジル・サイの作品は、本人が優れた演奏家であることもあって、誰が聴いてもくなくて良い曲なんだ!と思う音楽になっている。これは、迎合して書いているわけではないんです。あくまで自分の心の中に聴こえてくる音楽を表現している。

——難しく考えずとも、聴き手のなかに幻想の華が咲き乱れるような曲ですので、お楽しみにしていただければと。ところで、コンサートのはじまりは、ジョージ・ガーシュウィン(1898~1937)の《パリのアメリカ人》(1928年)。花の都に旅したアメリカ人、という視点から描かれた、ジャズの影響も生き生きと響く楽しい作品ですね。都会の喧噪を表現するために、自動車のクラクションを実際に鳴らしたりと、ウィットに富んだ人気曲です。

〈古き良きアメリカ〉といいますが、アメリカという国がいちばん輝いていた時代の作品から始めるわけです。ジーン・ケリーが主演した楽しい映画にも使われていますね[ヴィンセント・ミネリ監督『巴里のアメリカ人』1951年公開]。

僕は彼の〈ピアノ協奏曲へ調〉も大好きですが、人種差別の酷いアメリカにあって、全ての登場人物を黒人にしたオペラ《ポーギーとバス》を書いた人ですし、人間として強い平等意識を持った人でもありました。そういう点ではベートーヴェンと同じ。早くに亡くなってしまっていて、惜しかったですね。

——そしてアーロン・コーブランド(1900~90)の交響曲第3番(1946年)です。マエストロはこの曲を、1月にも京都市交響楽団で指揮されたばかりです。

これも名曲なんですよ!オーケストラは大変ですけども(笑)。コーブランドはバレエ音楽《アパラチアの春》や《ロデオ》なども取り上げてきました。彼の音楽は〈人間愛〉だと思う。その理想像を追い求めていたんでしょね。この交響曲第3番の壮大な終楽章からも〈人間讃歌〉が感じられます。

この曲の第3楽章も、深いですよ!人間の奥底に流れている、おぞましいものを描くようなところもあって……鬱のなかにもどこか救いの光がある。ここから音楽がとまらずに終楽章の有名な《市民のためのファンファーレ》へ続くわけですから。

——その続きかたも深いですね。

そう。第1楽章でも壮大な音楽の中にアメリカの大陸的なものを感じさせますし、これらはヨーロッパとも違う、アメリカ的な感覚を持った作曲家ならではの音楽です。第2楽章はプロコフィエフのような、というより彼へのオマージュのように感じます。

——この東京定期に続く第418回横浜定期演奏会では、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番のソリストに、長年共演されている名匠ボリス・ベルキンさんをお迎えします。

78歳にして現役バリバリ、もう世界遺産というべき至宝の巨匠ですよ。僕が20歳代で駆け出しの頃、初共演して以来、40年以上のつきあいです。今回共演するブルッフは、僕と録音もしていますけど、本当に王道の正攻法。これは聴いていただければ分かる。後半はベートーヴェンの交響曲第5番ですから、これは正に王道プログラム。真っ向勝負なんです!

## 第417回横浜定期演奏会

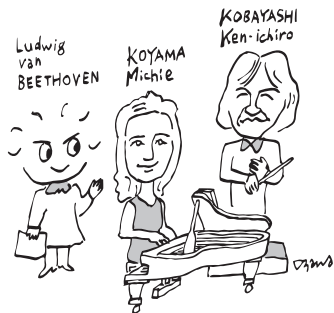
417th Yokohama Subscription Concert

2026年 5月9日(土) 15:00開演  
横浜みなとみらいホール3:00p.m., Saturday, 9th May, 2026,  
at Yokohama Minato Mirai Hall

オーケストラガイド 14:20から15分程度

ふせ さくひこ  
布施 砂丘彦氏

東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオラ奏者、批評家、音楽プロデューサー。新聞、雑誌、ウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。



## ベートーヴェン 《エグmont》序曲 op.84(約9分)

Ludwig van BEETHOVEN "Egmont" op.84, Overture

## ベートーヴェン ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 op.37(約34分)

Ludwig van BEETHOVEN Concerto for Piano and Orchestra No. 3 in C-minor, op.37  
I. Allegro con brio  
II. Largo  
III. Rondo: Allegro

休憩(20分) Intermission

## ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番《皇帝》変ホ長調 op.73(約38分)

Ludwig van BEETHOVEN Concerto for Piano and Orchestra No.5 "Emperor" in E-flat major, op.73  
I. Allegro  
II. Adagio un poco mosso  
III. Rondo: Allegro

指揮 小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ピアノ 小山 実稚恵

Piano KOYAMA Michie

コンサートマスター 木野 雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]  
Concertmaster KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster\*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。  
ご要望の方は主催者までお申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成 /

文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援 / tvk(テレビ神奈川)

協力 / 横浜みなとみらいホール

Conductor

指揮

小林 研一郎  
[桂冠名誉指揮者]

KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate



©山本 倫子

東京芸術大学作曲科及び指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクールでの鮮烈な優勝を飾ったことを皮切りに世界的に活動の場を拡げ、現在も第一線で活躍を続けている。音楽に対する真摯な姿勢と情熱的な指揮ぶりは「炎のコバケン」の愛称で親しまれ、名実共に日本を代表する指揮者である。

これまで海外ではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団(25年間、常任客演指揮者を務める)、アーネム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団等、国内ではNHK交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等、名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

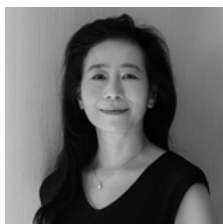
2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。この長年にわたる文化を通じた国際交流や社会貢献によって、ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデルランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降もアシクケナージ指揮 NHK交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団等で再演されている。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団・群馬交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団特別客演指揮者、九州交響楽団名誉客演指揮者、東京芸術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com>



©Hideki Otsuka

Piano  
ピアノ**小山 実稚恵**

KOYAMA Michie

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。

協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。

2016年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』(2006年~17年)や『ベートーヴェン、そして...』(2019年~21年)が、その演奏と企画性で高く評価された。2022年からはサントリーホール・シリーズ I Concerto<以心伝心>を25年まで開催、2026年より同シリーズ II Recital<未来永劫>をスタートする。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズからこれまでに34枚をリリース。近作の2つのベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィーア・ソナタ他』(2020年)と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』(2021年)は、深化するピアニズムが大きな話題を集めた。最新作は、デビュー40周年を記念してリリースされた『アルバム』(2025年)。著書として『点と魂と一スイートスポットを探して』をKADOKAWAより、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)を音楽之友社より出版している。

文化庁芸術祭音楽部門大賞、東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞、文化庁芸術祭音楽部門優秀賞等を受賞。2017年度には、紫綬褒章を受章している。

東京藝術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏両氏に師事。

解説:小宮 正安

**ベートーヴェン:《エグモント》序曲 op.84**

正式名称は、「ゲーテの悲劇『エグモント』への大オーケストラのための序曲」という。ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)自身、大いに尊敬を寄せていたゲーテ(1749-1832)の戯曲『エグモント』がウィーンで上演された際、その付随音楽(つまり一種の劇伴)として作曲された。付随音楽は序曲を含め全10曲から成り、1809年10月から翌1810年6月初旬にかけて作られている。

スペインの圧政に苦しむオランダを舞台とするこの物語は、領主エグモント伯爵が祖国独立運動の指導者として立ち上がり、捕らえられ処刑されるまでを描く。またそうした内容を凝縮して表現したのが、この序曲に他ならない。スペインの民族舞踊であるファンダンゴが、恐ろしい威圧感を以て迫ってくる序奏部。それに続いて、エグモントの戦いや愛を暗示するような主部が展開され、最後には彼の逮捕と処刑が描かれる。だがここで曲は終わらず、「勝利の交響曲」とも呼ばれる輝かしい終結部が続き、英雄の死をもって達成された自由や独立への賛美が謳い上げられる。

■ 楽器編成:フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

**ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 op.37**

ドイツを流れるライン河畔の街ボンに生まれ育ったベートーヴェンは、20歳代半ば、当時の一大国際都市ウィーンへ活動の拠点を移す。そしてこの街で、当初は作曲活動以上に、優れたピアニストとしての名声を確立することに心血を注いだ。そんな彼にとって自らのピアノの腕前と作曲の腕前の両方を、しかも大勢の聴衆を前に披露できる一大ジャンルこそ、ピアノ協奏曲に他ならなかった。

というわけで、当協奏曲も華々しい初演の日を目指して1796年頃にスケッチが開始されたものの、作業は滞る。結局のところ本格的な作曲の取り組みがおこなわれたのは、1800年から03年にかけて。しかも、1803年にベートーヴェン自身がピアノ独奏と指揮を兼ねて初演をおこなった際も、肝心のピアノパートは完成していなかった。

こうした経緯から、作曲に際してのベートーヴェンの苦心惨憺ぶりが分かるが、それも道理だろう。ピアノ協奏曲が、音楽家の演奏と作曲の能力を披露するための華やかなショウピースであったところを、そんな既成概念を覆す「ハ短調」(交響曲第5番《運命》にも用いられた調性だ)という闘争的で激しい調が用いられているのもその一例。

ここからしてきわめて斬新な1曲といえるが、さらに当時のベートーヴェンは、ピアニストとしては致命的な耳の病が進行していた。くわえてナポレオン(1769-1821)率いるフランス軍が、「自由・平等・友愛」のフランス革命精神を広めるという錦の御旗を掲げつつも、ヨーロッパ各地

で戦闘を繰り広げているという不安の時代が到来していた。

そんな一触即発ともいえる時代の空気の中で書かれたのが、『ピアノ協奏曲第3番』に他ならない。単なる独奏ピアノの技巧の開陳に終わらない、聴き手に人生の意味を問いかけるような精神的な深さが、ピアノとオーケストラの密接なやりとりの中から立ち現れるという手法。ベートーヴェン作品の、いやピアノ協奏曲の転換点ともなった1曲である。

■ 楽器編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

### ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 変ホ長調 op.73

日本では《皇帝》という愛称で定着している。だが、これは西洋音楽の箔をつけ、聴き手に「何か凄そう」と思わせるための習慣の産物にすぎない。

たしかに、《皇帝》という重々しい呼称が邪魔になるほど、この協奏曲には明るさや躍動感が満ちていないか。つまりそれは、「暗から明へ」、あるいは「闘争を経て勝利に至る」という、ベートーヴェン作品の展開パターンとは異なる方向性を示している。（そのようなことでいえば、悲劇的な楽想に貫かれた『ピアノ協奏曲第3番』のほうがよほどベートーヴェンらしい。）むしろこの作品の中核には、ピアニストが技巧や音楽性を遺憾なく発揮するためのジャンルという、協奏曲のあり様が、パワーアップされた形で存在しているといえる。

それがいきなり発揮されるのが、第1楽章の幕開け。ピアノ独奏で協奏曲が始まるというパターンは、『ピアノ協奏曲第4番』でも実践済みだが、『第5番』では「ジャー」というオーケストラの華々しい和音に先導され、華麗なピアノリズムが炸裂する。しかも変ホ長調という調性は元々英雄や君主の凱旋を象徴するものであるため、輝かしい響きにも事欠かない。

あるいは第2楽章。同じ2番目の楽章であっても、前作の『ピアノ協奏曲第4番』では不安と悲哀に満ちた響きが溢れていたが、当協奏曲のそれは平安と憧れに満ち満ちている。そしてこの至福の楽章は途切れることなく、躍動感に溢れたフィナーレの第3楽章に続き、しかもこの楽章の最後はティンパニとピアノの掛け合いという、ベートーヴェンならではのビートの効いたリズム感が耳を奪う。

作曲は1808年から09年にかけて。当時ベートーヴェンが住んでいたウィーンは、ナポレオンによる2度目の軍事占領を受けたこともあり、公開初演は1812年にずれこむ。

奇しくも1812年は、「フランス皇帝」として現世を謳歌したナポレオンが失脚への道を辿り始めた年である。それに代わるように、後に《皇帝》の愛称を戴くことになる『ピアノ協奏曲』が華々しく登場した。そしてこの頃からベートーヴェンの作風は、侵略者と化したナポレオンが去った後によりやく開けた明るい未来を寿ぐかのような、リズムに溢れた祝祭性を帯びたものへと変化を遂げていった。

■ 楽器編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

### ベートーヴェン時代のピアノ協奏曲

曲目解説にも書いたように、ベートーヴェンの時代のピアノ協奏曲は、ピアニストの腕前を聴衆に知らしめるためのショウピースとしての側面を具えていた。しかも当時は、現在のように「演奏家」と「作曲家」が分かれておらず、「演奏活動（その中には指揮も含まれる）」をおこないながら「作曲活動」も展開し、それらを融合して人々に示すことのできる存在こそが一流の音楽家であると考えられていた。

そのような文脈の中で、ベートーヴェン自身、ピアノ独奏者と指揮者をおこなながら、自作の協奏曲を披露するということをおこなっていた。ただし、耳の病が進行してゆくにつれ、オーケストラとのアンサンブルに齟齬をきたすようになってゆく…。

それにしても、ベートーヴェンがいわば「弾き振り」をおこなった相手のオーケストラは宮廷劇場をはじめ、ウィーンに存在していた幾つかの劇場の管弦楽団であり、いずれも優れたアンサンブル能力を有していた。となれば、ベートーヴェンの耳が悪くても、あるいは彼の作品が時代の最先端を行く難しさを伴っていたとしても、何とか彼に合わせてゆけそうなものだが、そうではなかったということだろう。なぜか？

実のところ、ウィーンでベートーヴェンのピアノ協奏曲が初演された場所は、劇場だった。つまり通常公演がない日に、音楽家が劇場も劇場のオーケストラも借りて、いわばワンマンショウ的な演奏会をおこなうのが通例だった（逆に、現在のような演奏会に特化したコンサートホールは存在しなかった）。しかもそうした場合、オーケストラは通常の劇場公演のように舞台の下に陣取るいっぽう、独奏者兼指揮者兼作曲家たる音楽家は、舞台上に登場して、自身の存在をPRしたのである。

となるとよく分かる。舞台の下にオーケストラ、上に独奏者では、距離や響きの問題もあり、音を合わせるのは至難の業だ。当時の劇場はロウソクの光だけがたよりであるため、アイコンタクトもままならない。逆に言えば、そうした演奏形態が当たり前の協奏曲に、単なる音楽家の腕自慢だけではなく、精神的な深みをもたらしたという点で、ベートーヴェンのおこなったことは革新的だった。

アン・デア・ウィーン劇場。ここでベートーヴェンは、自身の『ピアノ協奏曲第3番』『同第4番』を弾き振りで初演した。1831年画。▶



# 第418回横浜定期演奏会

2026年6月27日(土) 15:00開演  
横浜みなとみらいホール

オーケストラガイド 小宮 正安氏

■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥2,500

※Ys席:25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会



モーツァルト:  
歌劇《劇場支配人》  
序曲 K.486

ブルッフ:  
ヴァイオリン協奏曲第1番  
ト短調 op.26

ベートーヴェン:  
交響曲第5番《運命》  
ハ短調 op.67



指揮: 広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]



ヴァイオリン:  
ボリス・ベルキン

## 盟友と紡ぐブルッフのロマンと 勝利のベートーヴェン

広上淳一とボリス・ベルキンという数多くの共演を重ねてきた盟友同士が、久々に日本フィルのステージで熱い火花を散らします。プログラム前半は、ベルキンが奏でるブルッフの「ヴァイオリン協奏曲第1番」。甘く切ない旋律と、ロマン派ならではの情緒が溶け合う名作で、ベルキンの豊かな音楽性が作品の奥行きを際立たせます。序曲には、モーツァルトの軽やかで洒落た《劇場支配人》を配し、後半はおなじみのベートーヴェン「交響曲第5番《運命》」。有名な冒頭から始まる音のドラマは、まさに人間の意志と勝利の象徴。広上のエネルギーに満ちた指揮と、日本フィルの重厚な響きによってそのメッセージが雄弁に発信されます。絆と信頼に裏打ちされた演奏にご期待ください。



1 2月24日都民音楽フェスティバル

指揮に碓山隆一郎さん、ピアノに中野翔太さんをお迎えし、万雷の拍手に包まれて素敵なひとときを過ごすことができました。記念にばしゅり



2 2月28日子どもたちと芸術家のあう街

「リズムの秘密を発見」をテーマにスペイン舞踊とともにお届けしました! アンコールのラデツキー行進曲も踊り付きで。真似っ子ながら会場を後にするお友達がたくさん!ご来場ありがとうございました



3 3月4日オービック・スペシャル・コンサート

今年も「コパケンの名曲の花束」と題して、小林研一郎マエストロ、テノールに笛田博昭さん、合唱に武蔵野合唱団の皆様、ナビゲーターに朝岡聡さんをお迎えしお届けいたしました



4 3月7日杉並定期演奏会  
3月8日芸術シリーズ

我らが首席ホルンの信末碩才がソリストを務めたこの2公演は、R.シユトラウスのホルン協奏曲第1番、ストラヴィンスキーのバレエ組曲《火の鳥》(1945年版)他をお届けいたしました。カーチュン・ウォンマエストロ、信末、コンマス田野倉とパチリ



5 3月13日、14日東京定期演奏会

プレ70周年最後の東京定期でした!サミー・ムーサのエリジウム、マイケル・ナイマンのピアノ協奏曲というあまり定期演奏会では演奏しない曲と、下野マエストロが初めて指揮するシベリウスの交響曲(6番)をお楽しみいただきました



6 3月20日コパケン・ワールド  
3月21日横浜定期演奏会\*

小林マエストロの指揮、クラリネットは首席の伊藤寛隆でお届けしました。安達真理、千葉清加も加わって伊藤を囲みました!そして横浜定期演奏会ではシーズン・ファイナル・パーティも行いました。4月からは新シーズン!

# 今後の日本フィル出演公演

2026年5月～7月

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
5月	第155回 さいたま定期演奏会 ソニックシティ 30[土]14:00	指揮:鈴木 優人 フルート:Cocomi メンデルゾーン: 序曲《フィンガルの洞窟》 ライネッケ:フルート協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》	<a href="#">日本フィルeチケット♪</a>
	第781回東京定期演奏会 サントリーホール 6[土]14:00 7[日]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:服部 百音 ガーシュウィン:《パリのアメリカ人》 ファジル・サイ: ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》 コーブランド:交響曲第3番	<a href="#">日本フィル・サービスセンター</a> <a href="#">日本フィルeチケット♪</a>
6月	創立70周年記念 特別演奏会 サントリーホール 21[日]17:00 22[月]19:00 <b>完 売</b>	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ソプラノⅠ(罪深き女):船越 亜弥 ソプラノⅡ(懺悔する女):吉田 珠代 ソプラノⅢ(栄光の聖母):三宅 理恵 アルトⅠ(サマリアの女):花房 英里子 アルトⅡ(エジプトのマリア):中島 郁子 テノール(マリア崇敬の博士):宮里 直樹 バリトン(法悦の教父):青山 貴 バス(瞑想する教父):加藤 宏隆 合唱: 日本フィルハーモニー協会合唱団 武蔵野合唱団 東京音楽大学合唱団 杉並児童合唱団 マーラー:交響曲第8番《千人の交響曲》	
	第418回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 27[土]15:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:ボリス・ベルキン モーツァルト:歌劇《劇場支配人》序曲 ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》	<a href="#">日本フィル・サービスセンター</a> <a href="#">日本フィルeチケット♪</a>
	フレッシュ名曲コンサート どりーむコンサート Vol.133 府中の森芸術劇場どりーむホール 28[日]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:福田 麻子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》	お問い合わせ: 府中の森芸術劇場

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
7月	第156回 さいたま定期演奏会 ソニックシティ 3[金]19:00	指揮:西本 智実 ピアノ:貫川 風 サン＝サーンス: 歌劇《サムソンとデリラ》より 「バツカナル」 グリーグ:ピアノ協奏曲 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》	<a href="#">日本フィルeチケット♪</a> <a href="#">日本フィル・サービスセンター</a> <a href="#">日本フィルeチケット♪</a>
	第419回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 4[土]15:00		
	第82回杉並定期演奏会 杉並公会堂 5[日]15:00 <b>完 売</b>		
7月～8月	第782回東京定期演奏会 サントリーホール 10[土]19:00 11[日]14:00	指揮:フランソワ・ルルー ヴァイオリン:諏訪内 晶子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ:交響曲第5番	<a href="#">日本フィル・サービスセンター</a> <a href="#">日本フィルeチケット♪</a>
	夏休みコンサート2026 7月18日～8月3日	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] (7/18-26) 園田 隆一郎(7/29-8/3) お話とうた:江原 陽子 バレエ:スターダンサーズ・バレエ団 バレエ振付・演出:鈴木 稔 詳細はP24をご覧ください	

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]  
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。 [japanphil.or.jp](http://japanphil.or.jp)



日本フィルでは、さまざまな世代の方に向けて、音楽との出会いの場をひらいています。それはホールの中だけでなく、学校や地域、そして生活の延長線上にも、その入り口は広がっています。

### オーケストラとの出会い

<春休みオーケストラ探検 みる・きく・さわるオーケストラ>は0歳から入場可能なオーケストラコンサートです。コンサートの前には、楽器体験や楽器ごとの音色を楽しめるリレー・コンサート、音楽ワークショップなど、コンサートに関連した様々なイベントを行っています。



©山口 敦

### 学校や施設での出会い

年間を通して、小中学校や保育園、地域コミュニティセンターや高齢者向けホームといった施設に出向き、室内楽の演奏をお届けしています。楽員によるオリジナル・プログラムを行い、双方向でのコミュニケーションを大切にしつつ、コンサートホールとは異なる日常空間で、間近に演奏を聴いていただけます。



### 音楽業界を目指す人を応援

<夏休みコンサート>に関連して、オーケストラや室内楽などクラシック音楽、公演運営に関心がある大学生以上の方を対象にインターン募集をしています。

「オーケストラの現場を知っていただき、インターンでの経験を活かしてそれぞれの分野で活躍してほしい」という願いで実施しており、過去にはインターンシップ卒業生の中から実際に音楽業界に携わる人材も多数輩出しています。(2026年度の募集開始は5月中旬以降を予定しています)



©山口 敦

### コンサートの裏側と出会う

オーケストラ公演の前に不定期で<オーケストラたんけん隊>を行っています。

普段は入れない現場の裏側やGP見学(本番前の舞台上でのリハーサル)、制作担当者の話を聞き本番までのような過程でコンサートが作られているか知ることで、オーケストラをより身近に感じていただき、その後のオーケストラ公演をより楽しんでいただく企画です。大人の方を中心に毎回多数のお申し込みをいただいています。



### 音楽を奏でる出会い

<60歳からの楽器教室>は、日本フィルが友好提携を結ぶ杉並区在住者を対象に開催しています。

2002年9月の開講以来のべ約1000名の方が受講し、未経験からでも多くの方が継続的に楽器を学んでいらっしゃいます。音楽を聴くだけでなく、実際に楽器に触れることで新しい目標と仲間が生まれ、生活にハリがでたというお声もいただいています。



# Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます(特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です)。

## まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

第412回 横浜定期演奏会 | 2025年11月22日(土)

指揮:太田 弦  
チャイコフスキー:交響曲第5番

第九特別演奏会2025 | 2025年12月28日(日)

指揮:小林 研一郎 オルガン:石丸 由佳\* ソプラノ:小川 葉奈 メゾソプラノ:山下 牧子  
テノール:錦織 健 バリトン:青山 貴 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団  
J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565\* ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》 他

第777回 東京定期演奏会 | 2026年1月17日(土)

指揮:広上 淳一  
ショスタコヴィチ:交響曲第15番 イ長調 op.141

第414回 横浜定期演奏会 | 2026年1月24日(土)

指揮・ヴァイオリン:ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク  
ベートーヴェン:《献堂式》序曲 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 他

第415回 横浜定期演奏会 | 2026年3月21日(土)

指揮:小林 研一郎 クラリネット:伊藤 寛隆  
モーツァルト:クラリネット協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》

第779回 東京定期演奏会 | 2026年4月10日(金)

指揮:カーチュン・ウォン ソプラノ:森谷 真理 メゾソプラノ:林 美智子 テノール:村上 公太  
バリトン:大西 宇宙 合唱:晋友会合唱団  
ベートーヴェン(マラー「修正版」):交響曲第9番《合唱》

第413回 名曲コンサート | 2026年5月17日(日)

指揮:藤岡幸夫  
シベリウス:交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー:交響曲第5番  
ベルリオーズ:幻想交響曲

第780回 東京定期演奏会 | 2026年5月22日(金)

指揮:アレクサンダー・リープライヒ チェロ:佐藤 晴真  
ハイドン:交響曲第44番《悲しみ》 三善晃:絆つり星(チェロ協奏曲第2番)  
武満徹:群島S. -21人の奏者のための R.シユトラウス:交響詩《死と変容》

1か月  
アーカイブ

6/21  
まで販売



<日程>  
指揮:広上 淳一(7/18~26)・園田 隆一郎(7/29~8/3)  
バレエ:スターダンサーズ・バレエ団  
第2部振付:鈴木 稔  
お話とうた:江原 陽子

<プログラム>  
第1部 チャイコフスキー:歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ポロネーズ」  
パッハ:G線上のアリア  
J.シュトラウス2世:美しく青きドナウ

第2部 チャイコフスキー:バレエ《くるみ割り人形》  
(夏休みコンサート2026版)

第3部 みんなで歌おう  
だれにだってお誕生日  
「にじ」(新沢としひこ・作詞、中川ひろたか・作曲)  
勇気100%

<日程>  
7月 18日(土) 14:00 千葉県文化会館  
19日(日) 14:00 府中の森芸術劇場  
20日(月・祝) 13:00 & 17:00 東京芸術劇場  
24日(金) 12:00 & 15:30 サントリーホール  
25日(土) 14:00 ソニックシティ(大宮)  
26日(日) 12:00 & 15:30 横浜みなとみらいホール  
29日(水) 14:00 ロームシアター京都

8月 1日(土) 12:00 & 15:30 サントリーホール  
2日(日) 13:00 & 17:00 東京芸術劇場  
3日(月) 12:00 & 15:30 横浜みなとみらいホール

料金  
〔全席指定・消費税込〕  
※子供=4歳~高校生

【首都圏公演】  
【大人】\$5,800 A¥4,800 B¥3,800  
【子供】\$3,800 A¥2,800 B¥2,000

【京都公演】  
京都【大人】A¥4,200 B¥3,200  
京都【子供】A¥2,500 B¥1,800

チケット好評発売中

## 芸劇シリーズ 秋冬2公演セット券

発売日:6月10日(水)

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

### 芸劇シリーズ2公演セット

S席セット¥12,000 A席セット¥10,000

#### ① 第264回芸劇シリーズ

1回券発売日:7月7日(火)

2026年11月1日(日)14:00

東京芸術劇場

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]  
オーボエ:杉原 由希子[首席奏者]  
クラリネット:伊藤 寛隆[首席奏者]  
ホルン:信末 碩才[首席奏者]  
ファゴット:田吉 佑久子[首席奏者]  
モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136  
モーツァルト:協奏交響曲 変ホ長調  
(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)  
K.297b  
ベートーヴェン:交響曲第7番 イ長調 op.92



◎山本 倫子



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人



◎井村 重人

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500  
料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

#### ② 第267回芸劇シリーズ

1回券発売日:9月16日(水)

2027年1月10日(日)14:00

東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウオン[首席指揮者]  
トランペット:児玉 隼人  
ハチャトゥリアン:組曲《仮面舞踏会》  
ハイドン:トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIc:1  
J.シュトラウスII世:喜歌劇《こもり》序曲  
J.シュトラウスII世:ワルツ《美しく青きドナウ》op.314  
ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲



◎Ayane Sato



◎Yuji Ueno

1回券 | S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500  
料金 | Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルeチケット♪[席を選んでお申込みできます] <https://eticket.japanphil.or.jp>  
日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)

【お申込み・お問い合わせ】日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)  
eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



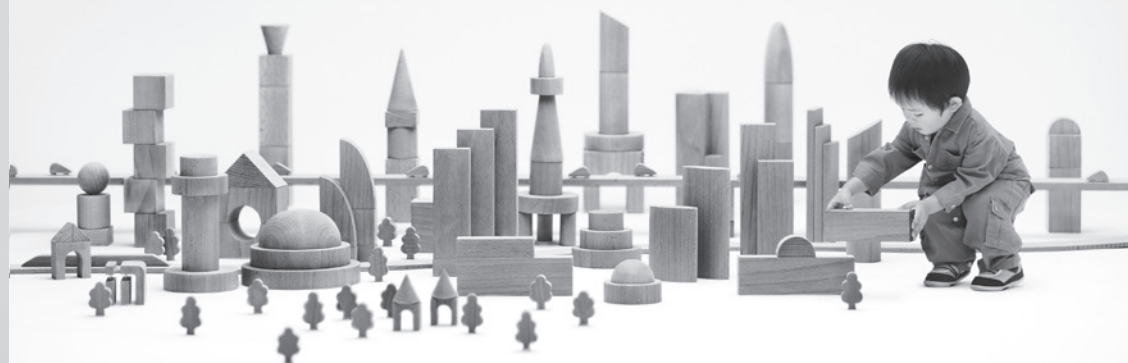
咲かせよう、  
まだない  
キレイを。



 utena



想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。  
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社  
**in鹿島**

株式会社 ウ テ ナ  
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22  
お客様相談室 0120-305411 [www.utena.co.jp](http://www.utena.co.jp)

解体ってただ壊せばいいって  
わけじゃないんです。

# だから解体は TANAKEN



TANAKEN株式会社

〒105-7309

東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

コーポレートサイト

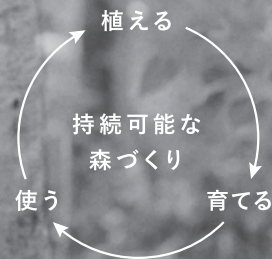


ブランドサイト



木を植え、  
森を育てることも、  
街づくりの  
大切な一部なんです。

三井不動産グループは北海道で  
約5,000ヘクタールの森林を  
保有、管理しています。  
その大きさは東京ドーム約1,063個分。  
この森が吸収するCO2は年間、  
約21,315トンにもなるそうです。  
人の手で1本1本苗木を  
植え、下刈り、間伐などの  
手入れをして健康な森に育てる。  
そして、伐採適期を迎えた  
木材や間伐材を、ららぽーとや  
日本橋の街づくりに活用し、  
「植えるー育てるー使う」のサイクルを  
回し続けて、森を守っているんだって。  
街づくりには森や緑を生かすことが  
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう



三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

# ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。  
化学の力で、もっといい未来へ。

**UBE** Transform  
Tomorrow  
Today

最高級のアコースティックを誇る

**杉並公会堂**  
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、  
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂  
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より  
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15  
Tel: 03-3220-0401  
<http://www.suginamikoukaidou.com/>  
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたくと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団  
理事長 石塚 邦雄

#### ■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額  
をメール [donation@japanphil.or.jp](mailto:donation@japanphil.or.jp) まで  
お知らせください。

#### 【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)  
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

#### ■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから  
クレジットカードによりご寄付いただけます。  
右の二次元コードから  
ご寄付のサイト  
ご覧いただけます。

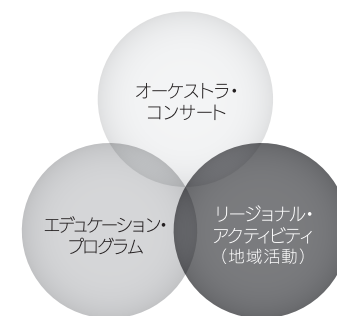


ご寄付をいただきました方には、  
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

## 感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

### 文化の発信

日本フィルは、  
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》  
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》  
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる  
《リージョナル・アクティビティ》という  
三つの柱で活動を行い、  
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

#### 特別会員

ウエルシア薬局株式会社 代表取締役社長 田中 純一

#### パトローネージュ

宮地 直紀 東京都

### 日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

#### パトローネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。  
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

#### 日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様へ日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、  
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。  
年会費:1万円

#### 特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。  
寄付金額を損金に算入することができます。

#### 遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。  
お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

アース製薬株式会社  
代表取締役社長 CEO 川端 克宜

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静

あすか製薬株式会社  
代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス  
代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドバンス都市開発  
代表取締役 古澤 孝

株式会社アダービジネスコンサルタント  
代表取締役社長 池田 昭司

イーソリューションズ株式会社  
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介

株式会社泉放送制作  
代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社  
代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎

株式会社インフォーマート  
代表取締役社長 中島 健

ウエルシア薬局株式会社  
代表取締役社長 田中 純一

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

宇部エクシモ株式会社  
代表取締役社長 福永 謙二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社  
代表取締役社長 児玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ  
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス  
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

株式会社エルイーテック  
代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社

荻窪タウンセブン株式会社

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

株式会社ONODERA GROUP  
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

公益財団法人オリックス宮内財団  
代表理事 宮内 義彦

鹿島建設株式会社  
代表取締役会長兼社長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社  
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太

株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社  
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社  
代表取締役社長CEO 中野祥三郎

キヤノン株式会社  
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キユーピー株式会社  
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩

キリンホールディングス株式会社  
代表取締役社長COO 南方 健志

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グローブシップ株式会社  
代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社  
代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス  
取締役社長 梁瀬 哲夫

京王電鉄株式会社  
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コパヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コンサートサービス  
代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 鳥井 信宏

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

ジーエルサイエンス株式会社  
取締役社長 長見 善博

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也

株式会社集英社 代表取締役社長 林 秀明

株式会社シエルター 代表取締役会長 木村 一義

ショーボンドホールディングス株式会社  
代表取締役社長 岸本 達也

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹

杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健

住友パークライト株式会社  
代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス  
代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂

大日本除虫菊株式会社  
代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社  
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

TANAKEN株式会社  
代表取締役社長 中尾 安志

千歳コーポレーション株式会社  
取締役社長 永田 裕之

千代田化工建設株式会社  
代表取締役社長 太田 光治

株式会社千代田テクノル  
代表取締役会長 細田 敏和

塚本総業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ディアンドデパートメント株式会社  
代表 ナガカケノメイ

学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史

株式会社T&Aマネジメント  
代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博

株式会社電通  
代表取締役 社長執行役員 松本 千里

東亜建設工業株式会社  
代表取締役社長 早川 毅

株式会社東急コミュニティー  
取締役社長 木村 昌平

東京海上日動火災保険株式会社  
取締役社長 城田 宏明

株式会社東京交通会館  
代表取締役社長 細包 憲志

東京美装興業株式会社  
代表取締役社長 八木 秀記

東洋熱工業株式会社  
代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則

学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎

株式会社永田音響設計  
代表取締役社長 小口 恵司

株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一

日鉄興和不動産株式会社  
代表取締役社長 三輪 正浩

株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春

日本精工株式会社  
取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊

日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正

日本電子株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉

日本パーカライジング株式会社

株式会社ネイチャーズウェイ  
代表取締役社長 萩原 吉晃

根本特殊化学株式会社  
代表取締役社長 根本美恵子

ハウス食品グループ本社株式会社  
代表取締役社長 浦上 博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 名倉 健司

株式会社バッファロー  
代表取締役社長 牧 寛之

ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎

阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一

税理士法人ヒイラギ 代表社員税理士 黒田 榮治

東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹

株式会社美禪 代表取締役 堀 哲昭

非破壊検査株式会社  
代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ  
代表取締役社長 清水 雄也

株式会社ファミーコ 代表取締役 新庄真帆子

富国生命保険相互会社  
代表取締役社長 渡部 毅彦

富士テレコム株式会社  
代表取締役社長 土井 寛

古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真

合同会社ベルファーマシー  
代表社員 前島 景子

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
代表取締役社長 池田 孝資

株式会社ポニーキャニオン  
代表取締役社長 吉村 隆

株式会社牧野フライス製作所  
取締役社長 宮崎正太郎

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長CEO 清明 祐子

株式会社丸井グループ  
代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博

丸文株式会社  
代表取締役社長兼最高経営責任者 堀越 裕史

丸美屋食品工業株式会社  
代表取締役社長 阿部豊太郎

株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕

三井倉庫ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 古賀 博文

三井不動産株式会社  
代表取締役会長 菰田 正信

三菱HCキャピタル株式会社  
代表取締役 社長執行役員 久井 大樹

三菱オートリース株式会社  
代表取締役社長 高井 直哉

三菱ガス化学株式会社  
代表取締役社長 伊佐早禎則

三菱総研DCS株式会社  
代表取締役社長 亀田 浩樹

三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤

三菱重工工業株式会社 取締役会長 泉澤 清次

三菱倉庫株式会社  
代表取締役 社長 齊藤 秀親

株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社  
取締役社長兼CEO 小林 真

武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通

明治安田生命保険相互会社  
取締役代表執行役社長 永島 英器

メッドサポートシステムズ株式会社  
代表取締役 谷川ひとみ

株式会社メディアグラフィックス  
代表取締役社長 我妻まどか

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社  
終身名誉会長 堀 澄也

山崎製パン株式会社

UBE株式会社 取締役会長 泉原 雅人

コウキフーツシステム株式会社  
代表取締役社長 田中 秀和

横河電機株式会社

米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介

リガク・ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 川上 潤

株式会社リョーサン  
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也

ローム株式会社  
代表取締役社長 社長執行役員 東 克己

匿名5名

青山やすし 東京都	岩瀬 順子 神奈川県	加藤 丈夫 東京都	佐藤 寛之 東京都	田仲 博幸 東京都	西村 醇子 神奈川県	真野美千代 東京都	吉川 美保 東京都
秋元 和美 東京都	岩田 達明 神奈川県	加藤 久喜 東京都	佐藤 正昭 東京都	田辺三基男 東京都	二村 英之 東京都	三木恵美子 神奈川県	吉田 貴美 神奈川県
明田 重樹 東京都	上田 泰邦 東京都	加藤 頼宣 東京都	佐藤 正知 東京都	田村 一 山梨県	布村 清美 東京都	三木 繁光 東京都	吉田 公彦 神奈川県
浅野 純次 埼玉県	上野悦子・陽子 東京都	金子 修 埼玉県	佐藤 順英 福島県	田村 浩章 東京都	沼口 順子 東京都	峯島 茂之 東京都	吉田 知世 東京都
朝吹 英和 東京都	宇賀神裕子 静岡県	金子 清 千葉県	座間 淑美 神奈川県	塚本 和久 東京都	根本 直之 千葉県	宮川 和哉 神奈川県	吉村 真幸 埼玉県
厚田 理郎 東京都	臼井 潤 東京都	金子 肇 千葉県	澤井 敏雄 東京都	辻 雅夫 東京都	野谷 文昭 東京都	宮地 直紀 東京都	吉村 匡則 東京都
阿部 俊彰 神奈川県	内村 恒彦 神奈川県	香山 和子 神奈川県	島田 精一 東京都	蔦井 厚伸 東京都	箱崎 一彦 千葉県	宮本 裕二 兵庫県	若林 昭子 東京都
新井 康允 神奈川県	江口 麗子 東京都	川合 孝一 千葉県	島田 晴雄 東京都	津田 義久 東京都	蓮見 正純 東京都	村上 純子 埼玉県	渡辺 和子 東京都
荒木 秀隆 東京都	大久保 昇 神奈川県	菅野 治幸 神奈川県	清水 幸雄 東京都	常石 博之 東京都	原 俊 千葉県	村上 洋美 東京都	渡邊規久雄 東京都
荒蒔康一郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	菊池 和美 東京都	下河辺美知子 神奈川県	積田 孝一 東京都	原 幸男 静岡県	村上 泰郎 東京都	渡邊 直 東京都
有江 純子 神奈川県	太田 達男 千葉県	喜多菟久江 東京都	下田 英一 東京都	一般社団法人 東京フロイデ合唱団 東京都	針谷 博史 東京都	持田 泰 東京都	渡邊 裕志 山口県
安西祐一郎 東京都	大塚 宣夫 東京都	北村 裕 神奈川県	生島 貴司 千葉県	東瀬 朗 新潟県	日高 好男 東京都	元永 徹司 神奈川県	Maru
飯田 桂子 東京都	大坪 昌広 東京都	木下 盛弘 東京都	菅友会合唱団 東京都	時枝 直満 東京都	平井 邦子 神奈川県	森 稔樹 神奈川県	M.K.
飯田 百栄 東京都	大森 京太 東京都	木村 恵司 神奈川県	菅 千太郎 東京都	徳田 陽一 東京都	平田 邦夫 神奈川県	森川 智之 神奈川県	匿名63名
家近 茂 東京都	岡田 尚子 埼玉県	久野 哲男 千葉県	杉本 功 東京都	外山 雄三 東京都	広瀬 晴子 神奈川県	森田 大輔 神奈川県	
家近 信子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	久保田伸一 群馬県	杉山 秀子 東京都	中尾 誠利 神奈川県	廣田 直人 東京都	森田ハルコ 東京都	
五十嵐重雄 東京都	荻窪祝祭管弦楽団 東京都	倉谷 宏樹 東京都	杉山 浩明 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	深沢 茂実 神奈川県	矢口 敏和 千葉県	
池浦 慧 東京都	栗原真知子 埼玉県	黒田 真二 神奈川県	鈴木 祐二 東京都	中島 奈穂 東京都	深見 敏正 東京都	矢倉 俊紀 東京都	
池田 博 東京都	黒田 真二 神奈川県	畔柳 信雄 東京都	住野 公一 東京都	中島美知子 東京都	福井 英次 東京都	山上 典彦 東京都	
池野 隆光 東京都	黒田 真二 神奈川県	畔柳 信雄 東京都	関 兼英 東京都	長瀬 雅則 東京都	福田 昭夫 東京都	山岸 陽子 東京都	
池谷 光司 東京都	尾澤 弘久 東京都	甲賀 一宏 埼玉県	妹尾 絲子 東京都	中園 和博 東京都	藤沢 薫 東京都	山口 幸子 東京都	
石澤 卓志 千葉県	尾上 洋子 東京都	胡口 靖夫 東京都	仙石 通泰 東京都	中西 祥子 東京都	藤野 盾臣 東京都	山口 仁栄 東京都	
石塚 邦雄 東京都	尾上 洋子 東京都	小林 和夫 東京都	宗 神子 大分県	永野 琢夫 東京都	藤原 真也 東京都	山口 岳彦 栃木県	
石津 寿恵 東京都	小野寺けい子 岩手県	小林こずえ 東京都	染野 郁郎 東京都	中村 公一 東京都	星 桂太郎 東京都	山口 達之 長崎県	
石橋 秀雄 神奈川県	小野寺健一 岩手県	小林 政雄 長野県	空田 幸徳 東京都	新倉 啓介 東京都	細谷 義徳 千葉県	山口みどり 東京都	
伊藤 貴博 東京都	小幡 尚孝 東京都	小林 裕美 東京都	高井 延幸 神奈川県	中山 彩 東京都	牧野 澄夫 東京都	山越 章弘 長野県	
伊藤 昌司 東京都	小原 道生 東京都	駒見 俊彦 東京都	高木 宏忠 東京都	那須 雄治 東京都	増井 俊之 神奈川県	山田 敏之 神奈川県	
伊藤 好彦 東京都	折田 昌子 東京都	五味 康昌 神奈川県	高須 幸雄 東京都	棗 年紀・綾 東京都	増田 文彦 神奈川県	山田 宏己 東京都	
井上 直人 東京都	風間 沙織 神奈川県	齋藤 武則 東京都	高田 信子 東京都	新倉 啓介 東京都	町田 公志 東京都	山本 高稔 東京都	
井上 浩良 東京都	賀澤 裕三 福島県	坂井 康柄 神奈川県	竹下 淑子 神奈川県	西澤 豊 東京都	松尾 東京都	油井 直次 東京都	
井上 正敏 千葉県	片貝 英重 東京都	定形 哲 神奈川県	竹中富知男 東京都	西谷 公男 東京都	松田 譲 東京都	横川 直 東京都	
岩沙 弘道 東京都	片山 英二 東京都	佐藤 武男 東京都	田中稀一郎 東京都		松村 美希 東京都	吉江 健志 千葉県	

# 日本フィルハーモニー交響楽団 [秋冬] 70周年記念特別東京定期演奏会

会場/サントリーホール  
東京芸術劇場(1月、3月)  
金曜日/19:00開演  
土・日曜日/14:00開演

2026 10 October	【第784回】サントリーホール 16日(金)、17日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:ヴィルデ・フラング 間宮芳生:二重奏協奏曲 *日本フィル・シリーズ第16作 バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》
2026 11 November	【第785回】サントリーホール 13日(金)、14日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:小林 研一郎(桂冠名誉指揮者) スメタナ:連作交響詩《我が祖国》全曲
2026 12 December	【第786回】サントリーホール 4日(金)、5日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:沖澤 のどか ピアノ:阪田 知樹 レーガー:ピアノ協奏曲 ブラームス:交響曲第2番
2027 1 January	【第787回】東京芸術劇場 29日(金)、30日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ブルックナー:交響曲第8番
2027 3 March	【第788回】東京芸術劇場 12日(金)、13日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:ピエタリ・インキネン ピアノ:アレクサンドル・メルニコフ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 R.シュトラウス:交響詩《英雄の生涯》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 発売日 2026年6月18日(木)発売  
S席 ¥35,000 A席 ¥30,000 B席 ¥26,000 C席 ¥21,000 P席 ¥17,000 Ys席 ¥9,000  
Ys席:25歳以下の方が対象で、S席以外からお選びいただけます。

秋冬【1回券】  
2026年  
7月15日(水)発売

# 日本フィルハーモニー交響楽団 [秋冬] 70周年記念特別横浜定期演奏会

会場/横浜みなとみらいホール  
土・日曜日/15:00開演  
(11月のみ日曜開催)

2026 10 October	【第421回】 31日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:小林 研一郎(桂冠名誉指揮者) オーボエ:杉原 由希子(首席奏者) クラリネット:伊藤 寛隆(首席奏者) ホルン:信木 慎才(首席奏者) ファゴット:田吉 佑久子(首席奏者) モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136 モーツァルト:協奏交響曲 変ホ長調(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)K.297b ベートーヴェン:交響曲第7番
2026 11 November	【第422回】 22日(日) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・スティーヴン・ハフ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》
2026 12 December	【第423回】 19日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥9,000 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 合唱団 Ys席 ¥4,000	指揮:阪 哲朗 ソプラノ:隠岐 彩夏 カウンターテナー:藤木 大地 テノール:小堀 勇介 バリトン:池内 響 合唱:東京音楽大学合唱団 オルガン:勝山 雅代 J.S.バッハ:トリカターとフーガ二短調 BWV565 他(オルガン独奏3曲) ベートーヴェン:交響曲第9番(合唱)
2027 1 January	【第424回】 9日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] トランペット:児玉 隼人 ハチヤットリアン:組曲《仮面舞踏会》 ハイドン:トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIc:1 J.シュトラウスII世:喜歌劇《こもり》序曲 J.シュトラウスII世:ワルツ《美しく青きドナウ》 ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲
2027 3 March	【第425回】 27日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ヴァイオリン:田野倉 雅秋(ソロ・コンサートマスター) ポロディン:歌劇《イーゴリク》序曲 ハチヤットリアン:ヴァイオリン協奏曲 二短調 ムソルグスキー(リムスキー=ニコラエフ編曲):交響詩《はげ山の一夜》 レスピーギ:交響詩《ローマの松》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 発売日 2026年6月18日(木)発売  
S席 ¥34,000 A席 ¥29,000 B席 ¥25,000 C席 ¥21,000 P席 ¥14,000(12月を除く全4回) Ys席 ¥9,000

秋冬【1回券】  
2026年  
7月15日(水)発売

## INFORMATION

### ■ もうすぐ発売

第263回 芸劇シリーズ 発売日:6月4日(木)  
2026年9月6日(日)14:00 東京芸術劇場


指揮:大友 直人 ヴァイオリン:千住 真理子  
モーツァルト:歌劇《皇帝ティートの慈悲》序曲 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲  
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲  
S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500  
Ys席(25歳以下) ¥2,500 Gs席(70歳以上) ¥5,000

コバケン・ワールドVol.44 発売日:6月24日(水)  
2026年9月27日(日)14:00 サントリーホール

指揮:小林 研一郎(桂冠名誉指揮者) ヴァイオリン:周防 亮介  
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ベルリオーズ:幻想交響曲  
S席 ¥7,300 A席 ¥5,800 B席 ¥4,700 P席 ¥3,700 Ks席(25歳以下) ¥2,000  
Gs席(70歳以上) ¥4,500

### ■ 役員人事のお知らせ

平井 俊邦は会長ならびに理事(代表理事)を2026年3月31日付で退任いたしました。  
なお、2026年4月1日付にて特別顧問に就任し、今後も当団の発展のために寄与します。



あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の・・・知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!!

映画プロデューサーであり、日本フィルの評議員となりクラシックの沼にはまりつつある村上典史子の素朴な疑問に、クラシック音楽界、そして日本フィルを知り尽くす音楽評論家・奥田佳道が答えします。親しみやすく、さまざまな切り口でクラシック音楽の扉を開きます。

①毎月10日・20日の19時 日本フィルのSNSで公開!  
②ロングバージョン「2分でわかる大人のためのオーケストラ入門Plus+」をYoutube公開

定期会員券ご寄付のお願い | お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

4月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。  
(50首順・敬称略) 大泉 雄彦、野田 千恵子、林 俊行、匿名7名

**ご寄付の方法** | ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。 ※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。 ※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1  
TEL:03-5378-5911(平日10時~17時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

## 訃報

日本フィルハーモニー交響楽団  
元理事長 田邊 稔氏



日本フィルハーモニー交響楽団 元理事長 田邊 稔 氏が、2026年3月23日逝去されました。享年91。

ここに謹んでお知らせ申し上げます。

田邊氏は1964年に当楽団に入団、首席コントラバス奏者として長年オーケストラを支えました。

日本フィル争議の際は楽団の存続をかけ、自主運営組織の運営委員長を務めるなど、楽団の根幹を支える役割を担ってまいりました。その後は経営に専念し、専務理事・理事長として当楽団の運営基盤の強化と発展に尽力され、日本フィルの歩みを力強く支えてくださいました。

一方、音楽家として、またコントラバス奏者としての情熱は終生かわらず、2001年には小山実稚恵さんと、2016年には仲道郁代さんと共演するなど、数々のリサイタルも行いました。

また2025年8月には、自身の半生と日本フィルの激動の歴史を綴った著書『田邊稔の日本フィル物語』を出版され、その歩みと想いを後世に伝えておられます。

常に音楽と楽団員に心を寄せ、楽団の未来を真摯に見守り続けてこられたそのお姿は、私どもの心に深く刻まれております。

その高い見識と実直なお人柄により、多くの関係者から深い信頼と敬意を寄せられました。6月の70周年記念特別演奏会を楽しみにされていただけに、大変残念です。

ここに生前のご功績に深く感謝申し上げますとともに、在りし日のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団



©飯田 耕治

## 日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫をはじめ幅広い層の邦人作曲家へ委嘱を行い、現在までに42作が世界初演され、すでに「古典」と呼ぶにふさわしいポピュラリティを獲得したのも少なくない。

2023年9月よりカーチン・ウオンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) 広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約150回のオーケストラ公演を行う。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回に及ぶ。音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な活動として注目されている。

また、全国各地で地域と協働しながら音楽を通したコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は360回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育てている」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしなが、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

指揮者

Conductor

創立指揮者	渡邊 暁雄 WATANABE Akeo
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎 KOBAYASHI Ken-ichiro
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン Lukács ERVIN
名誉指揮者	ジェームズ・ロツホラン James LOUGHRAN
客員首席指揮者	ネーム・ヤルヴィ Neeme JÄRVI
首席指揮者	カーチュン・ウオン Kahchun WONG
桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ Alexander LAZAREV
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一 HIROKAMI Junichi

コンサートマスター

Concertmaster

			
ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋 OGITANI Yasutomu	ソロ・コンサートマスター 木野 雅之 KINO Masayuki	ソロ・コンサートマスター 田野倉 雅秋 TANOKURA Masaaki	アシスタント・コンサートマスター 千葉 清加 CHIBA Sayaka

第1ヴァイオリン

1st Violin

					
伊藤 太郎 ITO Taro	太田 麻衣 OTA Mai	九鬼 明子 KUKI Akiko	齋藤 政和 SAITO Masakazu	榊 渚 SAKAKI Nagisa	
					
竹歳 夏鈴 TAKETOSHI Karin	谷崎 大起 TANIZAKI Hiroki	田村 昭博 TAMURA Akihiro	中谷 郁子 NAKAYA Ikuko	西村 優子 NISHIMURA Yuko	平井 幸子 HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン

2nd Violin

				
遠藤 直子 ENDO Naoko	大貫 聖子 ONUKI Seiko	岡田 紗弓 OKADA Sayumi	神尾 あずさ KAMIO Azusa	佐藤 駿一郎 SATO Shun-ichiro
				
末廣 紗弓 SUEHIRO Sayumi	豊田 早織 TOYODA Saori	町田 匡 MACHIDA Tadashi	松川 葉月 MATSUKAWA Hazuki	山田 千秋 YAMADA Chitose

ヴィオラ

Viola

				
客演首席奏者 安達 真理 ADACHI Mari	江藤 史織 ETO Shiori	小俣 由佳 OBATA Yuka	小中澤 基道 KONAKAZAWA Motomichi	児仁井 かおり KONII Kaori
				
高橋 智史 TAKAHASHI Satoshi	中川 裕美子 NAKAGAWA Yumiko	中溝 とも子 NAKAMIZO Tomoko	松澤 稚奈 MATSUZAWA Wakana	

ソロ・チェロ

Solo Violoncello

	
門脇 大樹 KADOWAKI Hiroki	菊地 知也 KIKUCHI Tomoya

チェロ

Violoncello

				
石崎 美雨 ISHIZAKI Miu	伊堂寺 聡 IDOJI Satoshi	江原 望 EHARA Nozomu	大澤 哲弥 OSAWA Tetsuya	久保 公人 KUBO Masato
				
篠原 和仁 SHINOHARA Kazuhito	山田 智樹 YAMADA Tomoki			

コントラバス

Contrabass

				
鈴木 優介 SUZUMURA Yusuke	成澤 美紀 NARUSAWA Mikiko	宮坂 典幸 MIYASAKA Noriyuki	森田 麻友美 MORITA Mayumi	山口 雅之 YAMAGUCHI Masayuki

フルート

Flute

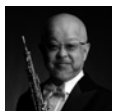
		
首席奏者 真鍋 恵子 MANABE Keiko	斎藤光晴 SAITO Mitsuharu	難波 薫 NAMBA Kaoru

## オーボエ

Oboe



首席奏者  
杉原 由希子  
SUGIHARA Yukiko



副首席奏者  
松岡 裕雅  
MATSUOKA Hiromasa



佐竹 真登  
SATAKE Masato

## クラリネット

Clarinet



首席奏者  
伊藤 寛隆 (楽団長)  
ITO Hiroataka



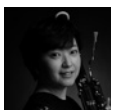
副首席奏者  
楠木 慶  
KUSUNOKI Kei



照沼 夢輝  
TERUNUMA Yumeki

## ファゴット

Bassoon



首席奏者  
田吉 佑久子  
TAYOSHI Yukuko



副首席奏者  
鈴木 一志  
SUZUKI Hitoshi



中川 日出鷹  
NAKAGAWA Hidetaka

## ホルン

Horn



客演首席奏者  
丸山 勉  
MARUYAMA Tsutomu



首席奏者  
信末 碩才  
NOBUSUE Sekitoshi



伊藤 舜  
ITO Shun



原川 翔太郎  
HARAKAWA Shotaro



村中 美菜  
MURANAKA Mina

## ソロ・トランペット

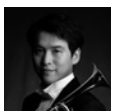
Solo Trumpet



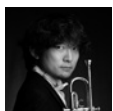
オッタビアーノ・  
クリストーフォリ  
Ottaviano CRISTOFOLI

## トランペット

Trumpet



首席奏者  
大西 敏幸  
ONISHI Toshiyuki



副首席奏者  
犬飼 伸紀  
INUKAI Nobuki



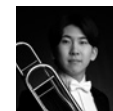
星野 究  
HOSHINO Kiwamu

## トロンボーン

Trombone



首席奏者  
伊藤 雄太  
ITO Yuta



副首席奏者  
笠間 勇登  
KASAMA Yuto



福島 莉那  
FUKUSHIMA Hana

## バス・トロンボーン

Bass Trombone



中根 幹太  
NAKANE Mikita

## ティンパニ

Timpani



首席奏者  
エリック・パケラ  
Eric PIEKARA



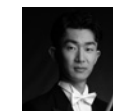
副首席奏者  
池田 健太  
IKEDA Kenta

## パーカッション

Percussion



大河原 渉  
OKAWARA Wataru



本間 雄也  
HOMMA Yuya

## テューバ

Tuba



柳生 和大  
YAGYU Kazuhiro

## ハープ

Harp



松井 久子  
MATSUI Hisako

写真 ©井村重人

### 楽団長

チーフステージマネージャー  
ステージスタッフ  
チーフインスペクター  
インスペクター  
ライブラリアン

伊藤 寛隆  
阿部 紋子  
長橋 健太/森田 大翔  
佐藤 駿一郎  
鈴木 優介/谷崎 大起  
鬼頭 さやか/坂庭 史映/杉本 哲也

### 理事長 (代表理事)

副理事長 (代表理事)  
専務理事 (代表理事)  
常務理事 (代表理事)  
理事

石塚 邦雄  
五味 康昌  
福井 英次  
後藤 朋俊  
石井 啓一郎/佐々木 経世/田村 浩章  
戸所 邦弘/葉田 順治/福本 ともみ  
別府 一樹

### 監事

評議員会会長  
評議員

福澤 宏哉/細谷 義徳  
加藤 丈夫  
青井 浩/安孫子 正/荒崎 康一郎  
石村 等/稲垣 尚/内川 清雄  
大塚 宣夫/梶浦 卓一/河北 博文  
喜多 崇介/木村 恵司/久保田 隆  
小林 研一郎/島田 精一/津田 義久  
中根 幹太/西澤 豊/野間 省伸  
福澤 一夫/村上 典更子/山口 多賀幸  
平井 俊邦  
熊谷 直彦/島田 晴雄

### 特別顧問

名誉顧問

### マネジメントスタッフ

浅見 浩司/磯部 一史/江原 陽子  
及川 ひろか/小川 紗智子/萩島 里帆  
髙澤 美和/香取 春子/金田 雅子  
小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫  
篠崎 めぐみ/杉山 綾子/杉山 まどか  
高橋 勇人/高橋 みゆき/田中 正彦  
樋谷 祐子/中村 沙緒里/西田 大輔  
西田 真菜/長谷川 珠子/樋高 雄太  
藤田 千明/古館 順一/堀川 桂  
宗澤 晶子/山岸 淳子/吉岡 浩子  
和田 美希

### チーフマーケティングオフィサー シニア・パートナー

伊藤 治彦  
新井 康允/永島 義郎/南部 洋一  
吉江 信博

### 団友

青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江  
新井 豊治/石井 啓一郎/伊藤 恒男  
伊波 睦/宇田 紀夫/遠藤 功  
遠藤 剛史/大石 修/鏡 美知子  
柏熊 由紀子/加藤 祐一/金本 順子  
蒲谷 隆行/川口 和宏/川口 貴  
菊田 秋一/岸良 開城/吉川 利幸  
木村 正伸/小山 清/斎藤 千穂  
佐々木 裕司/佐藤 玲子/菅原 光  
高木 裕子/高木 雄司/高木 洋  
高倉 理実/高山 智仁/田沢 烈  
立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代  
豊田 尚生/中川 二郎/中里 州宏  
永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎  
橋本 洋/畑井 紀代子/平賀 法子  
福島 喜裕/本田 純一/松本 克巳  
松本 伸二/三本 克郎/宮武 良平  
三好 明子/森 茂/山下 進三  
山科 淑子/渡辺 哲雄

## 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

チケットお申し込み・お問い合わせ

[ 日本フィル・サービスセンター ]

TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。  
予めご了承ください。

eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp/>X (旧Twitter)  
@Japanphil公式  
LINE  
アカウント公式  
Instagram公式  
Facebookメールマガジン  
日本フィル NEWS はこちらから登録！日本フィル公式YouTube  / @JapanphilMovie「2分でわかる！  
大人のためのオーケストラ入門Plus+」毎月10日・20日に/  
お届け